

ふれあいネットワーク

こくら北

社協だより

第164号



発行 小倉北区社会福祉協議会

小倉北区大手町1番1号 区役所3F
TEL (093) 571-5452 FAX (093) 571-9553

困ったときはお互いさま

みんなが安心して暮らせるまちづくり



ふれあいネットワーク活動

市・区社会福祉協議会では、住民が主役の福祉のまちづくり（小地域福祉活動）を進めるため、市内155校（地）区社会福祉協議会と協働で、「ふれあいネットワーク活動」を推進しています。

見守りのしくみ

福祉協力員（概ね50〜100世帯に一人の地域ボランティア）等が、民生委員・児童委員や町内会等と協力し、支援が必要と思われる世帯などへの訪問活動や声かけなどを行います。

助け合いのしくみ

見守りで発見した日常生活上の問題のうち、臨時的なものなどは、ニーズ対応チーム（地域助け合い班）をつくり、できる範囲で手助けをします。

話し合いのしくみ

見守り、助け合いを進める中で出てきた問題点などについて、関係機関や団体と一緒に話し合い（連絡調整会議）を行い、問題解決の方法や役割分担を検討します。

住民同士による助け合い

足原校区のサロン「足原カフェ」は、市民センターで体操や食事会などを行っていましたが、感染拡大防止のため長期の自粛を余儀なくされてしまいました。

そうした中、5月から高齢者の新型コロナウイルスワクチンの接種の準備が始まりましたが、予約に関する戸惑いや不安の声を日頃の見守り活動などを通して、よく耳にするようになりました。

そこで、社協役員等で足原カフェ開催日の5月11日に、ワクチン接種予約のお手伝いと困りごと相談を行うことになりました。

当日は、多くの方が接種券を持ってサロンを訪れ、「電話は繋がらないし、インターネットは難



しい。予約が無事に取れて安心した」と大変喜ばれました。また、この日は食事会ができない代わりに用意されたお弁当のお土産を持って、皆さん笑顔でサロンを後にしました。

このサロンでの取り組みの反響や校区からの不安の声を受け、まちづくり協議会が中心となり、足原校区全体としてこの予約代行を5月24日〜27日の4日間行うことに踏み出しました。

会場となった市民センターにはパソコン4台のほか、待合室等も準備し、当日はまち協や自治会、社協の役員、福祉協力員等が対応しました。回覧板や声かけのほか、Facebookやホームページでも周知をした結果、延べ200人以上の方が訪れ、予約を取ることが出来ました。

身近な地域住民同士での助け合いは、課題解決とともに地域の絆を強め、みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくりに繋がります。コロナ禍の非常時だからこそ、日頃の活動の中から拾い上げた困りごとに対して、自分たちが何かできることはないかと考え、柔軟かつ迅速に対応したことで、多くの高齢者の方に安心と困っている人を地域全体で支え合おうという思いやりの心を伝えることが出来ました。



お土産のお弁当をどうぞ！
早く皆で食事会が出来ますように



独自の受付表でスムーズな
予約を叶えます



パーティションを使って
感染症対策もばっちり

「コロナ禍」の新しい生き方

「みちくさ」は北九州市の短期集中予防型サービス事業の修了生が結成したサロンです。参加者のほとんどが要介護認定を受けていますが、受講時のプログラムで向上した身体機能を維持することを目標に、体操を中心としたサロン活動をマンション集会所で行っています。



健康遊具を使ってストレッチ

昨年、会場を屋外に変更して開催しようと考えたみちくさメンバーは、暖かな春の日差しが降り注ぐ4月、三萩野公園へと向かって歩き出しました。そこで出迎えてくれたのは、この公園を拠点に活動している「え



爽やかな春の空気を体いっぱいに取り込みます

なみいき健康サロンの皆さん。今回は二サロン合同で、認知症支援・介護予防センター職員による「公園で健康づくり」講座を開催し、公園内にある健康遊具を使った体操やストレッチをしながら、サロン同士の交流を楽しみました。

野外での活動は、天候や気温が要因で健康状態に変化が起きやすいため、参加者同士でお互いに見守り、何かあったときに助け合える関係づくりが大切です。コロナ禍で思いがけずつながった縁ですが、近所で活動するサロン同士、今後も交流を続けていきたいと考えています。

新型コロナウイルスの影響で、多くのサロンがいつも通りの活動が出来なくなりましたが、新たに始めたことや新しく出会った人達と「新しいサロン様式」を一緒につくっていきましょう。

サロンとサロンの橋渡しやコロナ禍での活動内容の企画など、いつでも私たち地域支援コーディネーターへお気軽にご相談ください。

今年度より
新しく会長になられた2名のご紹介
これからよろしくお願ひします!!

日明校区社協
太田徹臣会長
「安全安心のまちづくりのために精進します」

到津校区社協
豊山ナツ子会長
「コロナに負けず、笑顔あふれる校区へ」

シリーズ
民児協通信

新型コロナウイルスの影響で、民生委員・児童委員にとっても、日頃の見守りや相談支援活動が思うように出来ない状況が続いています。小倉北区主任児童委員部会では、4月に約1年ぶりの部会を開催し、先輩委員と新任委員等が活発に情報や意見交換を行いました。これまでのつながりを絶やさず、感染予防と活動の両立を図るために何ができるのか皆で考え、力を合わせて活動を続けていきたいと思ひます。

主任児童委員部会
原田理恵副部会長

長く続くコロナ禍で、子どもさんに関する悩みや困りごとも増えていると思われまひす。民生委員・児童委員には守秘義務があり、相談者のプライバシーには十分な配慮をしておりますので、安心しご相談ください。

貴金属 切手 洋品 骨董品

遺品整理士協会認定
遺品整理士 佐々木一紀
認定 第 IS22409 号

出張買取りも致します
家に眠っているお宝 買い取ります

まずはお気軽にお電話ください

093-967-2880

おたからや井堀店 〒803-0835 小倉北区井堀 3-1-7
福岡県公安委員会許可第902051910002号 営業時間:月~土 10:00~18:00 日曜/休

おたからや

介護ロボット
パルロ

平成27年8月20日(木)

9年長者の里小倉三萩野
9種類の介護施設

三萩野デイサービス体験利用受付中
TEL.093-932-0225 小倉北区白銀 2-11-4

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。



夜間の開催にも関わらず、毎回約50名の方にご参加いただきました。

「防災はふだんのくらしからいざという時のために今できること」とをテーマに、昨年9月から全3回の到達校区ふくのまちづくり講座が開催されました。

北九州市立大学の村江史年先生による講座の1日目は、地域の防災力向上のためには何が必要なのか、いざという時のために備えておくべきものは何かなど、他都市の事例を交えながらのお話しでした。板櫃川の氾濫を経験する到達校区の皆さんは、大雨や台風等の水害に関する関心が非常に高く、たくさん質問が飛び交いました。

2・3日目は、各町内ごとに分かれて、大きな世帯地図に、75歳以上の高齢者、町内会長、民生委

地域支援
コーディネーター
ネットワーク



奮闘記



北九州市立大学 村江史年先生

員、福祉協力員の色別シールを貼って見える化し、災害時の危険箇所や実際に避難する際に気を付けることについて話し合いました。「この方は認知症だから気を付けて声をかけよう」「この方は足が悪いくけど近くの息子さんが連れていくはず」等々、日頃の見守り活動で得た情報が加わるとより具体的なイメージが共有できました。

地図を用いて地域の状況を俯瞰的に見ることで、同じ校区内でも町内によって地形や人口構成のバラつき等が大きく異なることが分かり、その特性に合わせた対応の大切さや、緊急時に備えた日頃の見守りや顔の見える関係づくりが重要であると改めて学ぶことができました。



グループワーク時にはフェイスシールドの着用を徹底しました

「多世代交流を通じた人と地域のつながりづくり」

中井校区社会福祉協議会と井堀保育園は、例年昼食会や伝承あそびなど、一年を通して地域の高齢者と園児の交流を行っています。

昨年度は、コロナ禍により交流行事はほとんど中止となりましたが、3月には卒園児の皆さんへ、手作りの雑巾を贈呈しました。福祉協力員と民生委員・児童委員が中心となり、ボランティアの協力を得て、一針一針丁寧に縫い上げました。

「コロナに負けず、楽しい小学校生活を送って欲しい」という願いの込められた雑巾は、ピッカピカの一年生の学校生活を見守ってくれることでしょう。

子どもの頃から地域の高齢者とふれあうことで、思いやりや地域のつながりを大切にする福祉の心が育ち、世代を超えてお互いに支え合う地域づくりにつながります。中井校区をいつまでも大切に思う人に成長して欲しいと願っています。



子どもたちからのかわいい手作りのお礼の品



例年行われている昼食会



卒園する全員分の雑巾を渡しました
小学校でも元気に頑張ってね！

今日をよりよく生きるために、みんなの笑顔が増えていく介護を目指します。

社会福祉法人鷹羽会

軽費老人ホーム階寿園
階寿園デイサービスセンター
グループホーム花みずき

小倉北区篠崎1-9-5

TEL.093-592-3561 FAX.093-592-3562

【原則20～64歳対象】

障害年金をもらい忘れていませんか？

障害年金とは、病気やケガで日常生活や就労に支障が生じている方に支給される公的な年金のひとつです。

受給例

- うつ病で障害厚生年金2級110万を受給
- 脳梗塞で障害厚生年金2級185万を受給
- 腎不全で障害基礎年金2級78万を受給など

傷病

- 精神疾患・知的障害・人工透析
- 脳出血・心臓病・肢体障害
- 人工関節・ICD・がんなど他多数

☎093-533-8200(8:00～21:00)

社労士による無料相談受付中です

北九州 障害年金サポートネット

運営：平井社会保険労務士事務所 北九州市小倉北区船場町2-10 近藤会館4階A号

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。

福祉へのご寄付
ありがとうございました

令和3年4月1日から
令和3年6月30日まで受付分
(順不同、敬称略)

篤志寄付

- ㈱サンリブ到津店
- A級小倉
- 佐藤洋子
- 西来路克彦
- 小倉北区切手収集ボランティア
- 小倉北区プルタブ収集ボランティア
- 匿名 一件

社協会員へのご協力
ありがとうございます

令和3年4月1日から
令和3年6月30日まで受付分
(順不同、敬称略)

個人会員

- 《中井校区保護司会》
坂本 孝治 坂本 祐子
- 《小倉北区役所保健福祉課》
二上 員好
- 《小倉北区身体障害者福祉協会》
大串 信義 山崎 忠昭
- 水野勢津代 河野 光博
- 香田 小茅 山本 律子
- 濱崎 俊和 村上 劭
- 山田 定子 大串 容子
- 《貴船校区》
醒井 重政 杉野 忠孝
- 濱田 美佐 大谷 幸司
- 木下美和子 堤 千恵
- 桃島 広光 吉田 伸

- 《桜丘校区》
松井 厚樹 木下久美子
- 井地 英人 富永 雪枝
- 杉浦 勝代
- 《中井校区北小倉》
廣木 直利
- 《日明校区》
太田 徹臣 嘉村 正隆
- 長山 鎮次 中北 一紀
- 渡邊 博昭 山賀 信博
- 平田 隆子 木村 啓子
- 荻本 幸恵 宮原千佳子
- 太田 保
- 《中島校区》
苅北 憲佳 阿部 敏則
- 亀嶋 康俊 山本 誠
- 添田由美子 福永美智子
- 《足原校区》
金子 輝子 金子由佳里
- 金子 真介 橋田 由子
- 今泉 保子
- 《小倉中央校区米町町内会》
米町第一 米町第二
- 米町第三 新米町
- 京町第一 京町第二
- 京町第三 京町第四
- 京町第五 新京町
- 旧旭町 小倉駅前
- 魚一銀天街商店会
- 魚町通商店街 中央銀座
- 船頭町 博労町
- 浅野第一 浅野第二
- 東海岸 東浅野
- 浅野町 末広第一
- 末広第二 長浜中ノ丁
- 長浜東ノ丁 長浜先ノ丁
- 長浜宮ノ丁 鳥町食道街
- 砂津東本町 南山越町1丁目
- 南山越町2丁目 北山越
- 京町サンハイツ
- 《南丘校区》
梶 務 木村 俊行
- 榮 幸子 梶原 芳博
- 仁科 芳江 馬場 博
- 干坂 章二
- 《井堀校区》
柏木 作 柏木五十鈴
- 《城野校区》
中杉 長男 武田 勝春
- 樫本 春義 中村 豪俊
- 平井 茂 斎藤 弘
- 田園 直樹
- 《団体会員》
第一生命保険株式会社
北九州第一オフィス
泉台校区社会福祉協議会
北九州市母子寡婦福祉会小倉北地区
小倉北区身体障害者福祉協会
社会福祉法人 薫会
小倉中央校区天神島社会福祉協議会
貴船校区社会福祉協議会
桜丘校区社会福祉協議会
藍島校区社会福祉協議会
到津校区社会福祉協議会
南小倉校区社会福祉協議会
中井校区北小倉社会福祉協議会
日明校区社会福祉協議会
中島校区社会福祉協議会
中井校区社会福祉協議会
足原校区社会福祉協議会
小倉中央校区米町社会福祉協議会
小倉北区連合婦人会
小倉北保護区保護司会
一般財団法人北九州市小倉医師会
南丘校区社会福祉協議会
井堀校区社会福祉協議会
城野校区社会福祉協議会
西小倉校区社会福祉協議会

皆さまからお寄せいただいた ご寄付・会費は、
社協の事業を通して、地域福祉のために活用させていただきます。

身近な地域の福祉活動を進めるために

小倉北区内25校(地)区社会福祉協議会が中心となって実施する「ふれあいネットワーク活動推進事業」において、高齢者、障害のある方、子育て中の人などで、支援を必要とする方を、地域で「見守り」「助け合い」「話し合い」の仕組みづくりを推進し、「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を目指しています。

誰もが気軽に参加できる
地域のサロン活動



子どもたちによる
「ウエルクラブ活動」「福祉体験学習」



福祉への理解を深める
「出前講演」「福祉協力員研修」



ご加入いただいた方には、広報紙「こくらきた社協だより」にお名前を掲載させていただいております。
(匿名をご希望の方はお申し出ください)

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。



小倉北区社協ボランティア・市民活動センターだより

第 44 号

小倉北区ボランティア・市民活動センター
 ●電話・FAX (093) 562-2051
 ●E-Mail : kokurakita-vc@kitaq-shakyo.or.jp
 ●月曜日～金曜日 8:30～17:15
 (土・日・祝日はお休みです)

ひまわりねっと

令和2年度 小倉北区ボランティア・市民活動センター事業報告

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、ボランティア活動においてもこれまでにない難しい年でした。

小倉北区ボランティア・市民活動センターでは、中核的な支援機関として、感染対策にも配慮しながら、日々のコーディネートを軸に次のような取り組みを行いました。

●**ボランティア相談・コーディネート業務**

・ボランティア活動相談・情報提供・受給調整など
(4,271件)

●**ボランティア活動保険の加入促進**

(取扱件数169件、加入人数3,146人)

●**ボランティア行事用保険等の加入促進**

(取扱い件数83件、加入人数13,408人)

●**シルバーひまわりサービス事業の運営**

(ボランティア登録111名、送迎208件)

●**関連団体等との連携推進・ネットワーク強化**

・市社協や行政を含めたネットワークの強化

●**養成講座開催**

・65歳からのボランティア入門講座
 ・シルバーひまわりサービスボランティア研修会

●**広報・啓発活動**

・広報誌「ひまわりねっと」の発行(年4回)
 ・ホームページ「ぼらぐ」等による各種ボランティア募集・情報提供

●**物品貸出し**

・車椅子貸出し(50件)
 ・高齢者疑似体験セット貸出し(1件)
 ・点字盤その他貸出し(1件)

新任職員紹介

4月1日よりボランティア・市民活動センターのコーディネーター業務を担当します。よろしくお願ひいたします。



きただ たかこ
北田 貴子

●●●●●●●●●● ボランティア活動紹介 ●●●●●●●●●●

特定非営利活動法人

グリーン バード
green bird



コロナ禍のボランティア活動①

green birdとは、「きれいな街は、人の心もきれいにする」をコンセプトに誕生した原宿表参道発信のプロジェクトです。

合言葉は“KEEP CLEAN, KEEP GREEN.”

自分たちが住む街をもっとキレイで、もっとカッコイイ街にするために活動しています。2013年に小倉チーム誕生。現在は小倉・北方・黒崎・折尾と4拠点に活動が広がり「北九州チーム」に名称変更。大学生が活動リーダーを務めています。

現在は密集を避けるため参加人数の制限を設け、検温、マスク着用をお願いして活動しています。また使用する軍手やビブスは毎回洗濯、トングは消毒を行い、感染予防対策を徹底しています。

コロナ禍のボランティア活動②

アコルデは音楽コンサート(主にクラシック)の会場内でお手伝いをするボランティア団体です。結成から9年、年間40~50回の活動をしています。

コロナ禍で多くの人が集まるコンサートは軒並みキャンセルとなり、去年から活動もかなり少なくなっていますが、そのような中で感染対策を万全にし、コンサートを主宰する方、コンサートに来られる方双方が安心できる空間を提供できるよう心がけています。例えば、スタッフはフェイスシールドを着用し、手指、備品等の消毒の徹底、お客様には検温、消毒、ソーシャルディスタンスのお願いなどを行っています。

北九州の音楽文化を支える会

「アコルデ」



運転ボランティア

- 75歳以下
- 福祉有償運送運転者研修の受講が必要(二種免許取得者免除)

二人一組で活動しています。

ボランティアを希望する方は体験乗車をおすすめしています。まずはボランティアセンターへお問い合わせください。



※撮影用にマスクを外しています

同乗ボランティア

- 条件はありません

【活動内容】

- 時間等の記録記入
- 車両チェック
- ナビゲーション
- 利用者への検温、手指消毒、マスク着用確認等
- 運転ボランティアと利用者の見守り
- 終了後の車両内消毒

コロナ禍でも通院や、生活必需品の購入等のための外出は必要です。在宅で公共機関を利用して外出することが困難な高齢者を福祉車両で送迎しています。(緊急事態宣言中は運休)送迎時はアルコールチェック、検温、手指消毒、体調確認をして、安全と感染予防に努めています。

また、利用者が座る後部座席とボランティアが座る座席の間には飛沫防止のシートを設置しています。

シルバーひまわりサービス ボランティア募集!

使用済み切手、プルタブを集めています!

収集ボランティアをしませんか?

集まった古切手、プルタブは換金し、地域福祉に役立っています。

ご協力ありがとうございます

- 住田朱美 ●白木勝良 ●千々和一美 ●佐藤洋子
- 立林千和子 ●田中澄子 ●前田祐亮 ●長岡修二
- 宇野多美子 ●魚澄はるな ●森友美恵子 ●匿名
- 松ヶ丘町内会 ●九州建物管理(株) ●(株)月形
- 第一生命保険(株) ●小倉北体育館
- 清水市民センター ●南小倉市民センター
- 教育委員会学校支援部学校保健課

(敬称省略・順不同)

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

令和3年度

ボランティア活動保険

全国200万人加入!!

保険金額・年間保険料(1名あたり)

保険金の種類		プラン	基本プラン	天災・地震補償プラン
ケガの補償	死亡保険金		1,040万円	
	後遺障害保険金		1,040万円(限度額)	
	入院保険金日額		6,500円	
	手術 入院中の手術		65,000円	
	保険金 外来の手術		32,500円	
	通院保険金日額		4,000円	
賠償責任	賠償責任保険金(対人・対物共通)		5億円(限度額)	
	年間保険料		350円	500円

団体割引20%適用済/過去の損害率による割増引適用

<基本プランに加入される方へ>

基本プランでは、地震・噴火・津波が起因する死傷は補償されません。

◆災害ボランティア活動の参加は、「天災・地震補償プラン」への加入をおすすめします。

※被災地でのボランティア活動では、予測できない様々な事態が想定されます。二次被害への備えとしても、あらかじめ「天災・地震補償プラン」に加入いただきますと、より安心してボランティア活動に参加いただけます。

<https://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索

商品パンフレットは
コチラ
(ふくしの保険ホームページ)



ボランティア行事用保険

(傷害保険、国内旅行傷害保険特約傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償

(傷害保険)

福祉サービス総合補償

(傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

●このご案内は概要を説明したものです。お申込み、詳しい内容のお問い合わせは、あなたの地域の社会福祉協議会へ●

団体契約者 社会福祉法人 全国社会福祉協議会

〈引受兼事〉損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課
TEL:03(3349)5137
受付時間:平日の9:00~17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

(SJ20-12302 2020.12.28作成)

共同募金は、この広報紙発行をはじめ「ふれあいネットワーク活動」等、区内の様々な地域福祉活動に役立てられています。